

## 2-1) 秋まき小麦「きたほなみ」の収量・品質向上 ～作付拡大をめざして～

檜山農業改良普及センター檜山北部支所 地域第一係

### 1 背景とねらい

今金町の畑作は、「今金男爵」のブランドで知られるとおり、馬鈴しょを中心に作付されており、その他には豆類、てん菜などで輪作体系が組まれてる(図1)。そのため、豆類の過作傾向などによる問題も発生している。

適正な4年輪作を行うためには、イネ科作物の導入面積拡大が必要であるが、当地域における秋まき小麦の収量が不安定であったことから、安定生産に向けた取組を行った。

### 2 活動経過

今金町トマンケシ営農地区(重点対象地区)の小麦生産者5戸を対象に平成24年度から以下の活動を行った。

#### 1) 適正は種量の提案(H23年度～)

適期(9月18日～24日)におけるは種量は5～6kg/10aに設定(越冬前茎数1,000本/m<sup>2</sup>目標)

せたな町農業センター(H24・25年産)や重点対象地区(H25年産)で実証ほを設け、その結果を基には種時期に応じたは種量を提案した(表1)。

#### 2) 生育に合わせた追肥の指導(H24年度～)

起生期N6kg/10a+幼形期N4kg/10a+止葉期N4kg/10aを基本とし、ほ場ごとの茎数に応じて追肥量を提案。

小麦生産者に対し1戸1筆の生育調査を実施し、生育期毎に草丈、茎数などを基に収量、品質向上に向けた施肥指導を行った。また、調査結果などについては夏期研修会や懇談会で情報提供し、生産者全体で共有した。

#### 3) 雪腐病防除の推進(H25年度～)

雪腐病防除効果をPRするための実証ほを設置

当地域では雪腐病防除の実施率が低いことも収量が不安定となる原因の一つと考えられるため、H26年産のほ場で雪腐病防除の展示ほを設置し、小麦の安定生産に向けた取組を実施した。

### 3 活動の成果

#### 1) 適正は種・施肥の実践と収量・品質の向上

適正は種については、H24年産ではは種時期に応じたは種量の実践農家は1戸であったが、実証ほの実施で年々理解が深まるとともに実践する農家の割合も高まり、H26年産では4戸となった。

#### 2) 茎数に応じた追肥で収量・品質が向上

追肥の実践については、起生期の茎数に応じた施肥体系、特に止葉期追肥の実施の重要性が理解され(表2)、実践農家がH24年産2戸からH26年産4戸となり、収量と規格内率の向上が顕著で、生産者からも「効果を実感している」などの声が聞かれている(表3)。

今金町全体の収量についても、重点対象地区の成果を基に止葉期追肥の指導を行ったことで向上してきており、関係機関や生産者からも「小麦がとれるようになった」などの声が聞かれるようになってきている(図2)。

#### 3) 雪腐病防除効果を実証

防除試験を実施した結果、雪腐病の発病程度(指数)は、防除区(0.3)に対し、無防除区(1.4)と発生が多くなり、越冬茎歩合(起生期茎数/越冬前茎数)も防除区が高くなった。その後の起生期～止葉期の茎数は、防除区で多く推移したことから、防除の有効性と生育確保の効果を示すことができた(図3)。

### 4 今後の対応

適正は種量と追肥の効果については理解が進み、収量などの向上につながってきていることから、この成果を生産組織などを通じ地域全体に波及させていきます。

雪腐病防除の効果は確認できたことから、収量・品質の更なる安定・向上のため、今後とも継続して指導していきます。

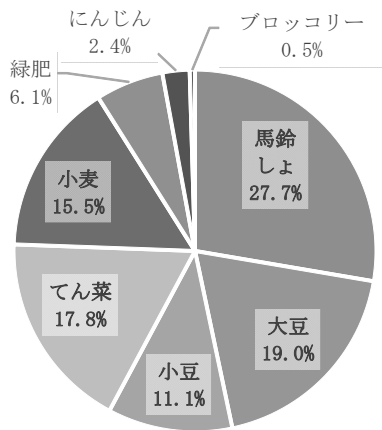


図1 重点対象地区の畑作面積比率

表1 は種時期とは種量の提案

は種時期	早まき	適期まき	遅まき	は種晩限
	9/15~17	9/18~24	9/25~30	10月3日
は種量 (kg/10a)	4~5	5~6	6~7	上限10

表2 起生期の茎数に応じた施肥体系の提案

起生期の茎数 (m <sup>2</sup> あたり本数)	800本以下	800~1,300本	1,300本以上
	施肥窒素量 (kg/10a)		
起生期	8	6	4
幼形期	4	4	4
止葉期	4	4	4

表3 提案事項の実践状況と収量・品質

項目	年産	農家					
		A	B	C	D	E	
提案事項	は種日に 応じた は種量	H26	○	○	○	×	○
		H25	×	×	○	○	○
		H24	×	×	○	×	-
	起生期茎数に 応じた追肥量	H26	○	○	○	○	○
		H25	○	○	○	○	○
		H24	×	×	×	△	-
	幼形期追肥 の実施	H26	○	×	○	不	○
		H25	×	×	○	○	×
		H24	○	△	△	不	-
	止葉期追肥 の実施	H26	×	○	○	○	○
		H25	×	×	○	○	×
		H24	×	×	○	○	-
収量及び品質	製品収量 (kg/10a)	H26	494	587	652	639	655
		H25	437	369	557	564	465
		H24	314	315	475	451	-
		H23	365	271	302	0	-
	たんぱく 含有率 (%)	H26	9.6	9.2	9.1	9.5	10.3
		H25	9.6	10.4	11.1	9.5	10.7
		H24	9.3	10.7	10.6	1.6	-
		H23	10.2	10.7	10.2	-	-
	規格内率 (%) *2.4mm網上	H26	79.4	85.2	84.5	93.2	87.5
		H25	72.8	82.2	86.6	87.0	76.7
		H24	77.9	83.2	87.6	88.2	-
		H23	72.1	60.1	59.0	0	-

○：実施、△：実施したが、施肥量不足、×：未実施、不：不要

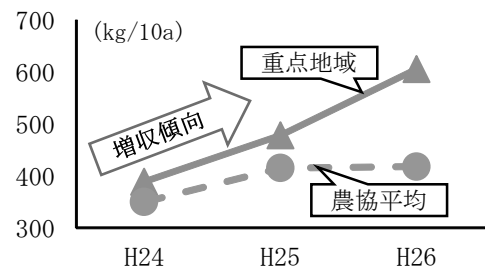


図2 重点地域と農協平均の収量

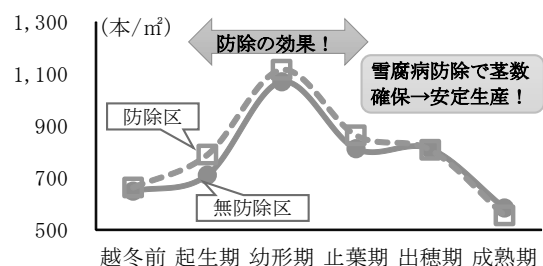


図3 雪腐病防除の有無と茎数の推移(H26)